

レジメン名	CDDP + PEM + Osimertinib
対象疾患名	非小細胞肺がん
1クールの日数	21日
催吐性リスク	高度
その他注意事項	EGFR変異陽性

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食 硫酸Mg	500mL 10mEq	点滴静注	1時間	day 1
2	アクチット フロセミド注	500mL 20mg		1時間	
3	パロノセトロン注 アロカリス注 デキサート注	0.75mg 50mL 235mg 9.9mg		30分	
4	生食 ペムトレキセド(PEM)注	100mL 500mg/m ²		10分	
5	生食	50mL		5分	
6	生食 シスプラチン(CDDP)注	500mL 75mg/m ²		1時間	
7	生食	500mL		1時間	
8	ヴィーンF	500mL		1時間	day 1, (2, 3)
9	アクチット	500mL		1時間	
10	デカドロン錠	4mg 2T/朝昼	内服	(3日分)	day 2-4
11	タグリツソ錠	40-80mg 1T/朝		連日	

【主な副作用】

悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、便秘、倦怠感、口内炎、腎障害、浮腫、電解質異常、神経障害(末梢神経障害、聴力障害)、皮膚障害、間質性肺炎、QT延長

【その他注意事項】

- CDDP: 腎障害予防として、飲水指導を実施(OS-1を推奨)。
- PEM: 治療開始7日前より葉酸0.5mgを1日1回連日経口投与、ビタミンB12を1回1mg筋注する(9週間に1回)。NSAIDsや腎毒性を有する薬剤または腎排泄型薬剤(プロベネシド、ペニシリン等)と薬物相互作用あり(作用増強)。
- Osimertinib
 - ・CYP3A4誘導薬と薬物相互作用あり(作用減弱の可能性あり)。
 - ・P-gpあるいはBCRPの基質となる薬剤と相互作用あり(併用薬の作用増強の可能性あり)。
 - ・QT延長を起こす薬剤との併用により、QT延長増強の可能性あり。